

セミナー開催のご案内

開催日時：2025 年 11 月 7 日（金）10:40-12:00, 13:00-14:20

開催方法：対面

開催場所：埼玉大学 環境社会デザイン学科棟 1 号館 2 階会議室

講師 太田琢磨（気象研究所）、一言正之（日本工営）

日本の洪水予測のトップを走るお二人に洪水予測の現状についてご講演いただきます。

10:40-12:00 太田琢磨 洪水キキクル高度化に向けた気象研究所の取り組み

気象庁が提供する洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）の精度向上と適用範囲の拡大を目的として、気象研究所では関連する複数の研究開発を進めています。本講演では、これらのうち現在取り組んでいる主な研究テーマについて紹介します。

①粒子フィルタに基づくデータ同化とガウス過程回帰を統合した洪水予測手法の開発

②積雪変質モデルを活用した融雪洪水予測に関する研究

③背水の影響を考慮した支川の洪水危険度推定と洪水キキクルでの可視化

今後、これらの成果を洪水キキクルの実運用に反映し、よりの確な洪水リスク情報の提供につなげていくことを目指していきます。

13:00-14:20 一言正之 AI による水災害予測技術と社会実装の取り組み

日本工営は、総合建設コンサルタントとして、土木・インフラ分野において幅広く AI の技術開発・実務利用を進めている。本講演では、防災分野・水災害予測を中心に、AI の基礎的な技術紹介とあわせて、研究トピックの内容を紹介する。また、研究開発を社会実装に結びつけるための企業における研究・仕事ぶりや、課題や留意点を紹介する。

自己紹介



太田 琢磨（おおた たくま）
気象庁気象研究所 応用気象研究部
主任研究官

【経歴】

- 1977 山梨県 出身（48歳）
- 1955 千葉大学 理学部 物理学科
- 1999 千葉大学 自然科学研究科
- 2001 盛岡地方気象台 防災業務課
- 2003 仙台管区気象台 予報課 現業班
- 2005 気象庁 予報部 予報課 洪水情報係員
- 2011 気象庁 予報部 予報課 洪水情報係長
- 2018 気象庁 予報部 予報課 水害対策気象官
- 2022 現職

主に取り組んできたこと

- 大雨洪水警報の改善
- キキクルの開発



ひとこと まさゆき
一言 正之

日本工営株式会社 河川水資源事業本部
河川計画部 次長

略歴

- 1982年生まれ（43歳）
- 2005年3月 東京大学 工学部（システム創成）卒業
- 2007年3月 東京大学大学院 工学系研究科（地球システム工学）修了
- 2007年4月 日本工営(株) 中央研究所にて勤務開始
- 2016年4月 東大 論文博士取得（←AIによる洪水予測）
- 2020年7月 日本工営中央研究所 先端研究センターAI研究室 課長
- 2025年4月～現在 日本工営中央研究所 流域水管理事業本部 次長

業務経歴

- 洪水・土砂災害・津波・高潮などのリスク評価
- AI技術の実証業務

資格・所属

- 技術士（建設部門：河川、砂防及び海岸・海洋／総合技術管理）
- 中央大学 AIデータサイエンスセンター 客員所員／研究開発機構員研究員
- 土木学会（構造工学委員会、AI・データサイエンス論文集編集小委員会）
- 水文・水資源学会（国際委員アドバイザー） など

Copyright © NIPPON KOGI Co., Ltd. All Rights Reserved.

以下のフォームよりご登録ください。

特別セミナー開催 日本の洪水予測の現状について 申込締切 11/5（水） - 事前入力フォーム

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=aa8jBSUEjUqYJ-5yksXYIauY6iLYb3JNq60UycpxNixUQkwzOE5DVEVTN1MwVVRTN0dHRTFJTjJYWWS4u>